

黒髪地区における学生と地域のゆるやかなつながりづくり

チーム名：つながろう！くろかみ

メンバー：江村和大・櫻井理紗・宮崎絵理・金城幸作・高山未来（熊本大学法学部伊藤洋典研究室）

解決したい課題

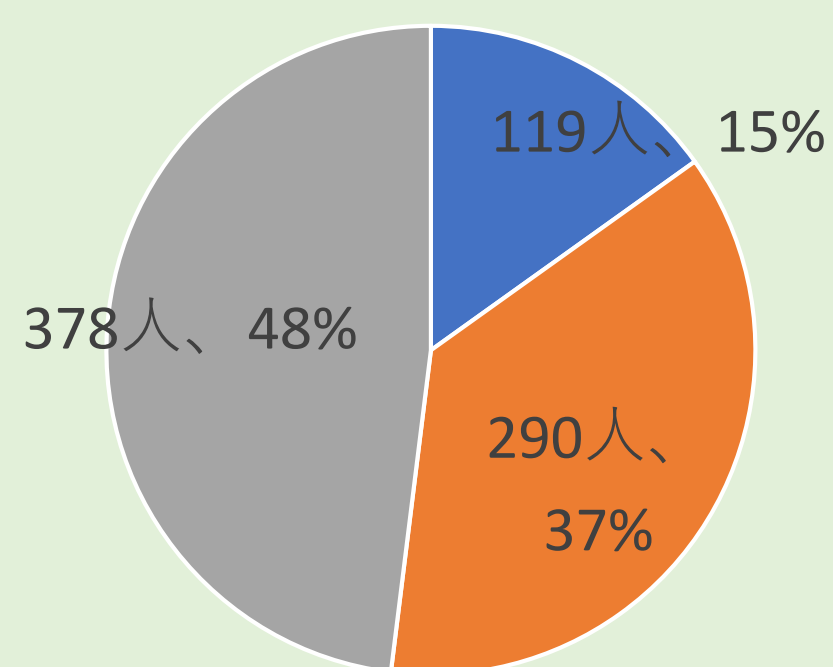
「学生が地域コミュニティに入る
入り口がない」

入り口がないと、、、

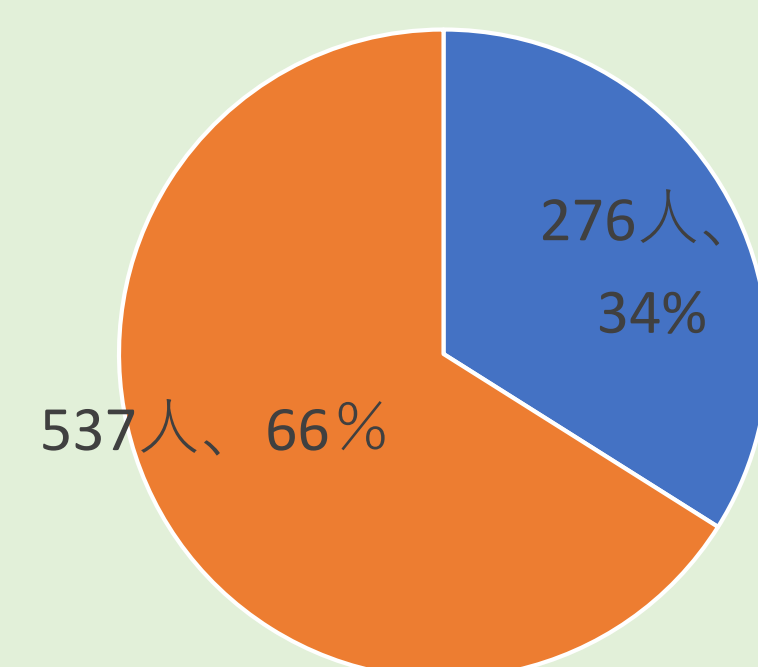
地域コミュニティのつながりが欠如
↓
コミュニティ内の連携が生まれない
↓
防犯・防災の面で不安

学生の実態

行政のイベントに関心はありますか？



地域活動(町内会、行政)に関心はありますか？



学生が地域・行政に対して無関心

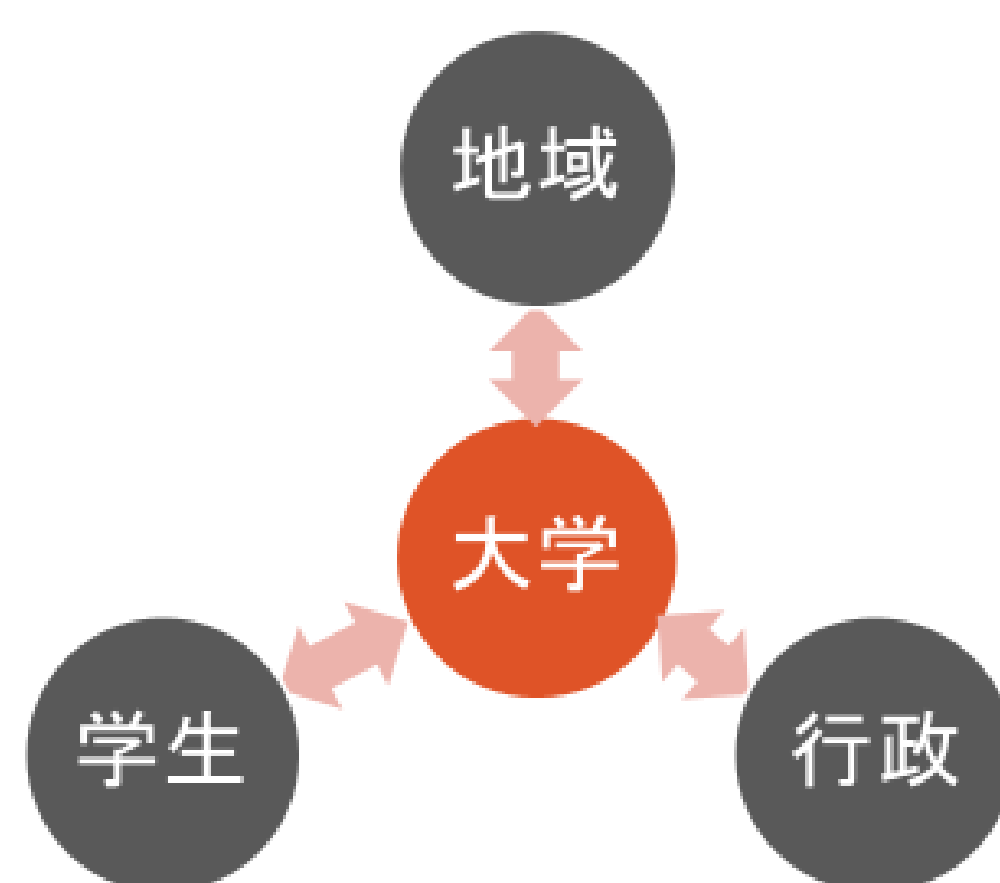
→地域や行政が情報を流してもその情報が伝わらない

伝わらない場合...

- ①学生にとっては、地域を知る、地域と関わる機会を失う
 - ②地域にとっては、学生の意見が入ってこないため、学生のために行動できない
- ⇒お互いにとって不利益になる

私たちの提案「大学を介した地域コミュニティづくり」！

提案① ボランティアセンター

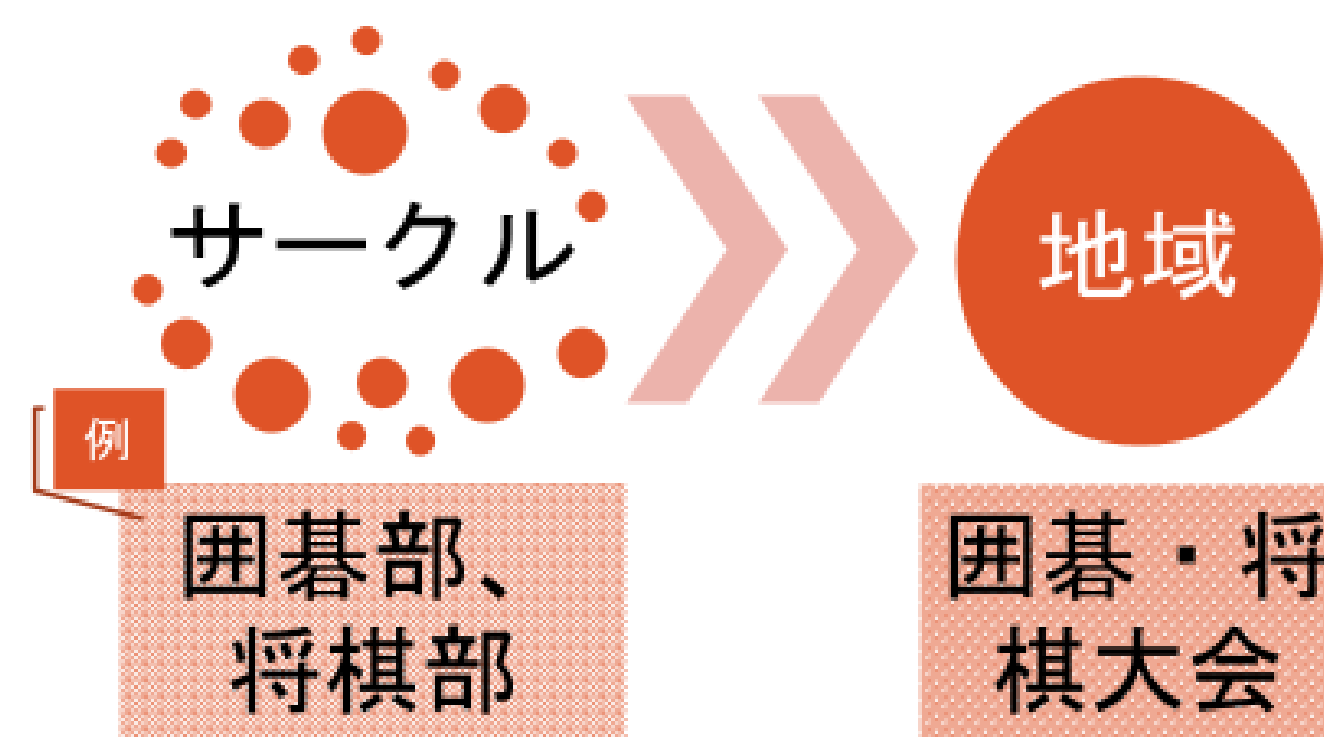


大学内にボランティアセンターを設置して、学生と地域・行政のマッチングを行う

期待される効果

- ・ボランティアに関心のある学生が、ボランティアに参加するための一歩を踏み出しやすくなる
- ・学生に対し、人手の不足している地域のイベントへの参加を促しやすくなる

提案③ 学内のサークルを活用

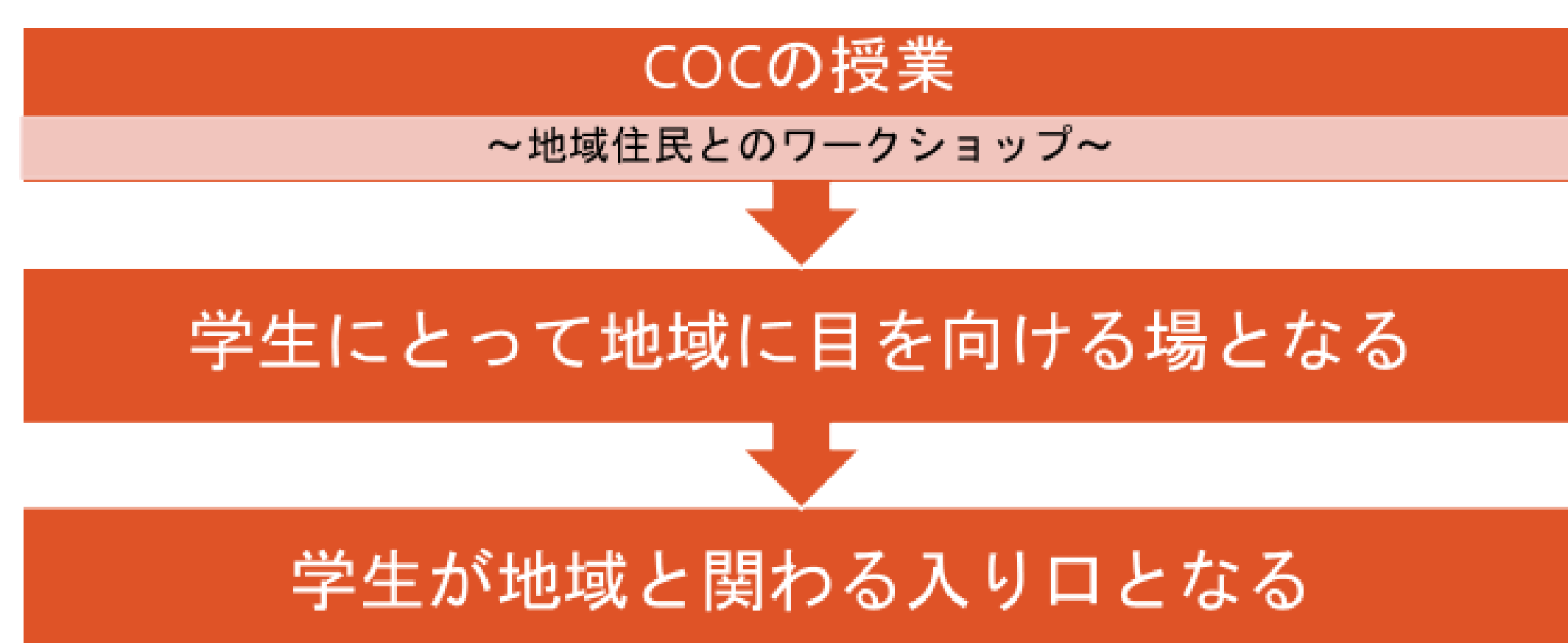


サークルなど学生の立場から地域の方も参加できるイベントを企画する。そして、イベントと同時に地域の活動(清掃活動など)を行う。

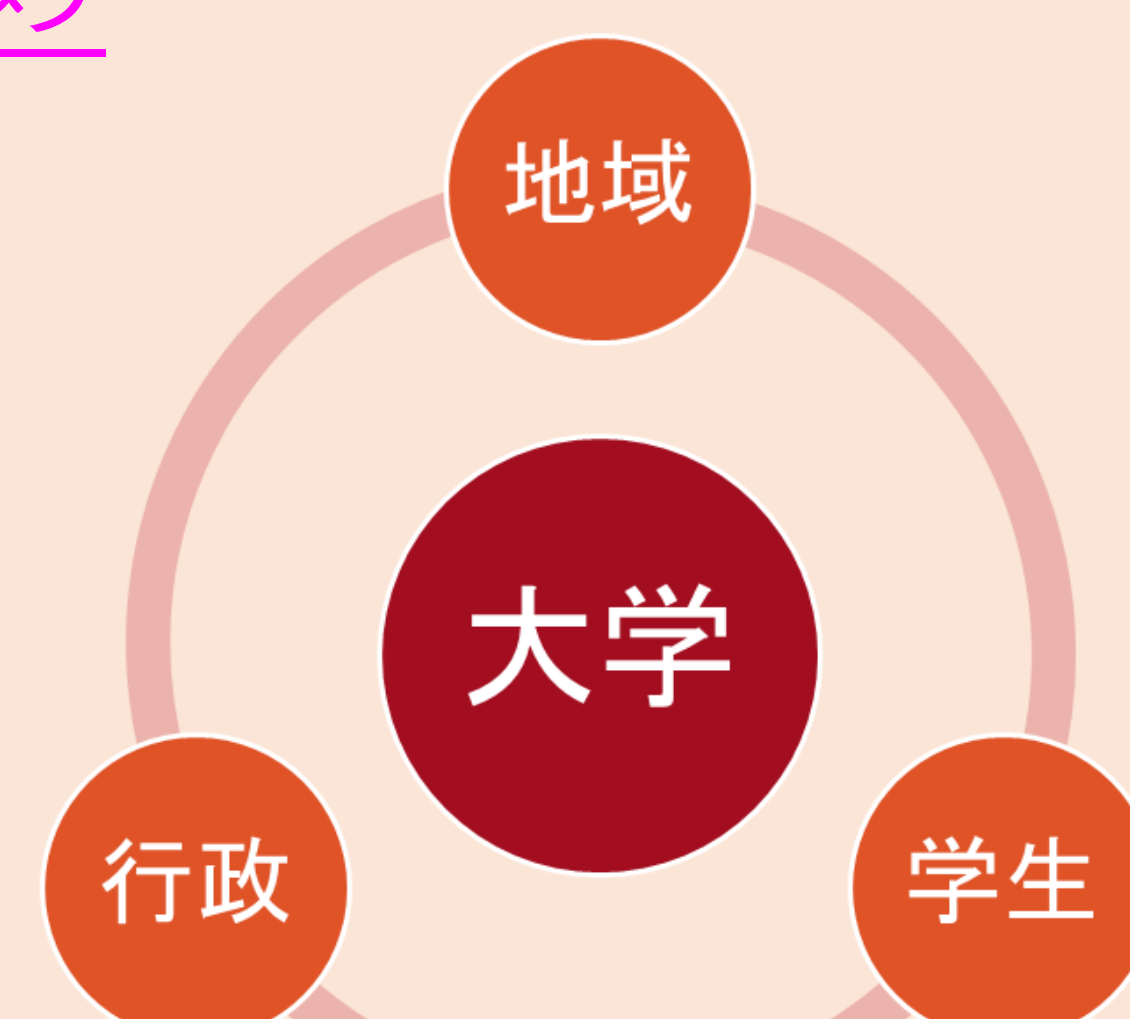
期待される効果

- ・サークルの垣根を超えて企画することで、普段関わりのない学生同士でもつながりが生まれる
- ・ただ地域の活動だけを行うよりもイベントを同時に開催することで、学生が地域活動に参加しやすくなる

提案② COCとの連携



まとめ



大学

↓
学生にとって身近な存在

↓
学生が地域コミュニティと関わるきっかけとなる



ワークショップのイメージ(2016年地域デザイン論より)